

幼児教育に役立つ動画を配信中！



YouTube
のびラボチャンネル



幼児教育・小学校受験対策プリント
ダウンロード販売サイト
<https://www.nobilabo.com/>

©Nobilabo 2021 無断転載や内容を改ざんしての配布、転売などはご遠慮ください。

みみなしほういち



ほういち は あんとくてんのうのおはかのまえにすわりこみ、
ずぶぬれになってうたっていたのです。

てらおとこは、びっくりして、むりやりほういちをつれてかえりました。
ほういち は、だんのうらのがっせんでしんでしまったさむらいのほうれいと
とりつかれていたのです。

「ほういち。」
「はい。」
「すばらしい えんそうだった。」
「ありがとうございます。」

「こよいからむいかかん、まいよここに来て、ひきがたりをしてほしい。
そしてこのことはだれにもいってはならぬ。」

よろいのおとこはほういちにそうつけました。
そのひから、まいばんよろいのおとこがほういちをむかえにきました。
ほういちはおしょうさんにないしょでうたいにいきました。

むかし むかし、いまのしものせきが、あかまがせきとよばれていたころ、あみだじというお寺がありました。そのお寺に、ほういちというわかものがいました。



ほういち は めが みえませんでした が、びわを ひきながら うたうのが とても とくいでした。とくに げんじと へいけのものがたり、だんのうらの がっせん の ひきがたり は とても とくいで、きたひとは みんな なみだを ながすのでした。

1



おしょうさんは いそいで いしゃを よびました。きちんとした てあてのおかげで、ほういち は また げんぎに なりました。

みみは なくなりましたが、ほういちの うわさは とおくまで つたわって いました。ほういちの びわの ひきがたりは ますます ひょうばんになり、いつか「みみなしほういち」とよばれる ように なりました。

14



「ほういちの ようすが おかしい。ひにひに やつれて きている。」おしょうさんは、ほういちが こっそり よなかに でかけていることに きづき、ほういちに たずねました。ところが ほういち は やくそくを まもり なにも はなしませんでした。

7



ほういちが なにも いわないので、おしょうさんは、てらおとこに ほういちの あとを つけさせることに しました。

そのよるは、あめが ザアザアと ふっていました。てらおとこが、やまの なか ほういちの あとを おいかけていくと... なんということでしょう。

8



「さあ、へいけのいくさのものがたりをうたっておくれ。」
 さっそくほういち、だんのうらのがっせんを、びわをつかってかたりはじめました。
 がっせんのはなしが、へいけがほろぶくだりになると、
 おおぜいのひとのすすりなくこえがきこえてきました。

5



さくやのできごとをきいたおしょうさんは、
 ほういちにまよけのまじないをかけることにしました。
 「ほういち、おまえのうたがほうれいをよんでしまったようじゃ。」
 おしょうさんは、ほういちのからだにじゅうに、おきょうをかきました。

「こんやも、わしはおつやででかけなければならぬ。
 よいか、だれがきてもぜったいにこえをだしてはならんぞ。こえをだせば、
 おまえはほうれいにみつきり、つれていかれてしまう。」
 「は、はい。わかりました。」

10



「ほういち…、ほういち…」
 こえがしましたが、
 ほういちがめがみえないので、
 だれがきたのかわかりません。

「どなたさまでしょうか。」ほういちがおそろおそろこえをだすと
 「わしはみぶんのたかいかたからのつかいのものだ。」
 こえはつづきます。
 「そのおかたが、おぬしのひきがたりをきいてみたいそうじゃ。わしについてきてくれ。」

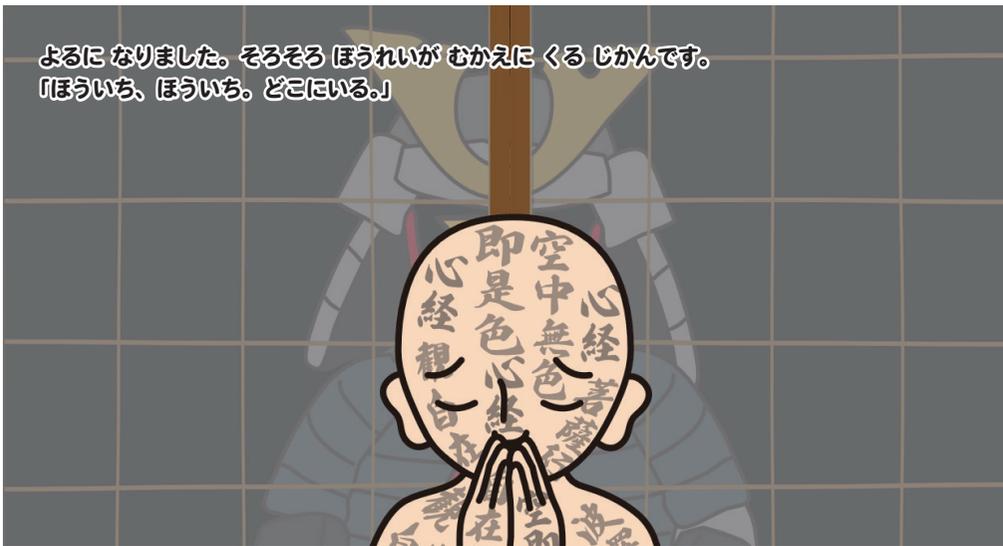
3



そのとき、ほうれいは、やみのなかにうかんでいるほういちのみみを見つけました。
 おしょうさんがほういちのみみにだけ、きょうもんをかくのをわすれていたのです。
 「みみしかないが、しょうこにもってかえるぞ。」
 ほうれいは、ぶちっとほういちのみみをもぎとりかえっていきました。

12

よるになりました。そろそろ ほうれいが むかえにくる じかんです。
「ほういち、ほういち。どこにいる。」



ほういちが がんばって ずっと だまっていた。
ほうれいには、ほういちを みつけることが できません。
「ほういち、どこじゃ！」

11 こえは だんだん ちかづいてきます。



ほういちが、ふしぎに おもいながらも、よろいのおとこのあとをついていきました。
しばらく あるくと、おおきな もんのおとがして、ひろそうなへやに とおされました。

4



あけがた、おしょうさんがいそいで もどって きました。
ガラリ

「ほういち、ぶじだったか！」
「ほういち！」
そこには、りょうみみをなくして、ちをながしている ほういちが いました。
「おお、おお、かわいそうに…。わしが みみに きょうもんを かきわすれた ばかりに…」

13



ある むしあついなつによる、
おしょうさんが ほうじで
でかけてしまったので、
ほういちが ひとりで
びわの れんしゅうを していました。

すると、ガチャン、ガチャンと おくから よろいのおとが きこえてきました。
あしおとは、すこしずつ ちかづき、ほういちのへやのまへで とまり、ガラリと、しょうじが あ
きました。

2